

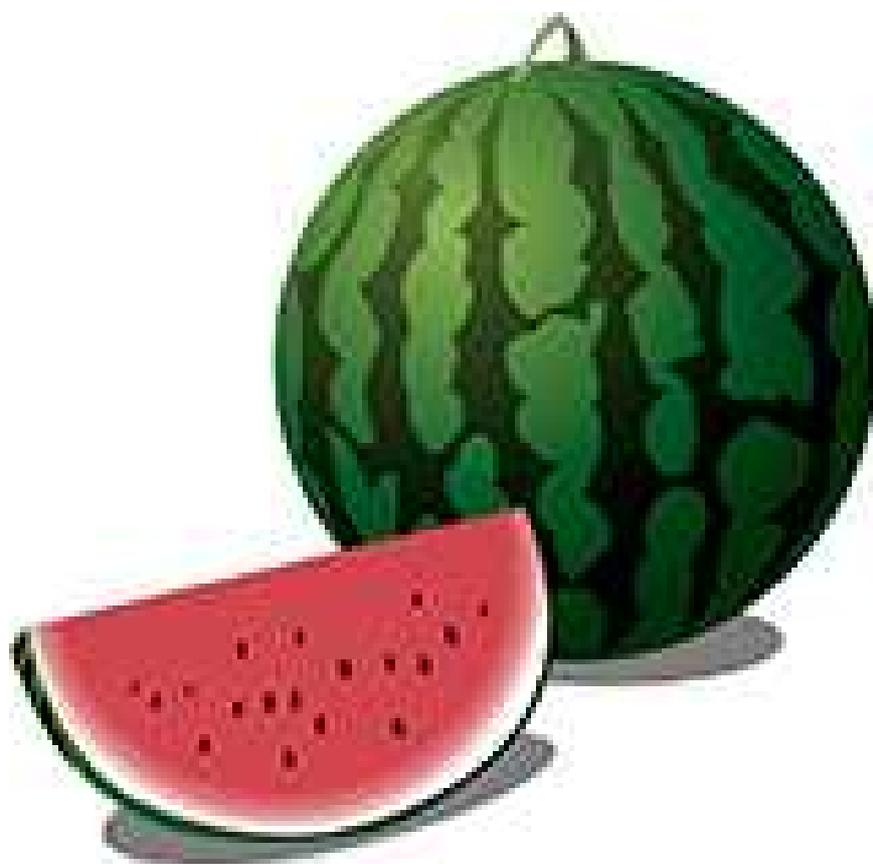
平成 22 年度

国臨協関信支部

神奈川地区会

会報誌

第 4 8 号



平成 22 年 7 月発行

# 会長挨拶

## 『結束と連帯』

箱根病院

臨床検査技師長 近藤 正

地区会の皆さんこんにちは、4月1日付けで栃木県宇都宮病院からまいりました近藤です。会長である原田技師長の配置換えに伴い、赴任した私が地区会長を引き継ぐことになりました。宜しくお願い致します。

4月28日に第1回理事会を行い年間計画を立て予定として皆さんに配信しましたが、その後、各施設の技師長を通じお知らせしたように総会時期を10月に変更いたしました。

前倒しになった分、各施設理事、会員の皆さんに負担をかけますが、是非ともご協力お願い致します。皆で力をあわせて運営してゆきましょう。

また、今回は企画段階ではありますが、関信支部との合同研修会を考えております。支部との連帯をもって、是非成功させたく思います。「結束と連帯」これは今年のW杯南アフリカ大会のキーワードです。これ拝借。

さて、挨拶を書くにあたり過去の会誌をめくったところ、“何年ぶりかで戻ってまいりました。”“この挨拶を書くのは、何回目です。”との記述が度々みられます。その文面から、また神奈川地区の施設で勤務できるようになって良かった、古巣に帰ってきた、そんな皆さん気持ちが伝わって来るような気がします。私にとっては、30年余りの検査技師生活で初めての勤務地です。出来るだけ多くの皆さんと知り合いたいと思います。

ところで、私の出身は横須賀です。



## 会員の挨拶

新しく神奈川県会会員になられた方々に、自己紹介をしていただきました。

### NHO 横浜医療センター

『横浜医療センターに赴任して』

副臨床検査技師長 稲葉 孝

4月1日付けで埼玉病院から配置換えとなり、あっという間に2ヶ月が経過しました。若い頃、横浜病院に在勤していた当時は国立病院という古いイメージでありましたが、この4月新築となり周辺の景観も様変わりして歳月の流れを実感しております。

新棟開院に伴い、電子カルテの運用が開始され臨床検査科スタッフもそれに習熟するため連日時間に追われておりますがそのうち慣れることでしょう。

私は去年の暮れも新棟引越しと電子カルテの運用を経験しておりますが紙ベースによる検査業務が懐かしく思われます。しかし電子カルテの実用化等環境整備も整い、臨床検査分野における信頼性のより高いデータを提供することになり、スタッフも残業続きでやや疲れ気味ですが、日夜利用患者や病院の為一丸となり横浜市南西部の中核病院として邁進したいと存じます。よろしくお願い致します。

主任技師 渡邊 和則

平成22年4月1日付けで国府台病院から横浜医療センターに配置換えとなりました渡邊です。時代の先駆けを切り拓く坂本竜馬のような中島技師長のもとで新病院、電子カルテ、新検査システム等、多忙な日々で、気がつくとなつというまの1ヶ月半でした。優秀で勤勉なスタッフの方々に遅れをとらぬように心機一転頑張ろうと思っておりますので、今後とも皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 技師 有波 香織

平成 22 年 4 月 1 日付けで横浜医療センターに新採用となりました有波です。同年 3 月まで 2 年間、国立がんセンター中央病院病理検査室で非常勤技師として勤務しておりました。

当院は 4 月から新棟開院し、電子カルテや検査システムなども新しく導入されました。病院運営を軌道にのせるのに大変な真っ只中に、経験の浅い私への指導は負担だろうと申し訳なく思う反面、良い環境で勉強になり、皆様の足を引っ張らないように努力していかなければと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



## NHO 相模原病院

臨床検査技師長 浅里 功

4月1日付でハンセン病療養所の国立療養所栗生楽泉園よりNHO相模原病院へ配置換えとなりました。栃木県、群馬県での単身生活(それなりに楽しく、貴重な経験でした)から解放され、5年ぶりの相模原病院勤務です。早々にSuicaなるものを購入し、現在はJR、小田急線の2本の電車を使い継ぐ通勤生活(往路、復路とも爆睡中のため車窓の記憶なし)に戻っています。

さて相模原病院は念願の新棟開設やオーダリング稼働があり、検査科も中央採血室の整備、自動分析装置の更新等、ハード、ソフトとも大きく変わりました。また、経営・業務改善には病院全体が意欲的に取り組んでいます。検査科への要望も多く、早急に結果を求められるため、科長以下全員でアイデアを出し、行動する「真に必要なとされる検査室」を構築したいと考えています。神奈川地区会も今年は会期変更など区切りの年となりそうですが、ご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

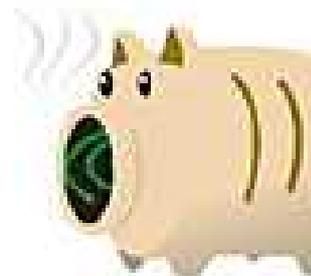
主任技師 河本 健二

4年ぶりの神奈川、そして22年ぶりの相模原病院 出戻り河本です。

また、神奈川地区会の仲間に入れていただきます。

前任地・千葉東には単身赴任をし、ストレスを感じながらも独身生活を謳歌していました。しかし、だんだんと家計を圧迫しはじめ、そんな時内示があり、家族ともども内心「ホッ」としたところです。相模原病院は22年前と同じ顔で、そして検査科は顔なじみが多く、気持ちよく迎えていただきました。22年前の自分を取り戻し、初心に帰り一日一日を大切に頑張っていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



## 『相模原病院に戻ってきました』

主任技師 山口 秀樹

平成22年4月1日付で、国立国際医療センターより転任いたしました。

相模原病院へは8年ぶりに戻ってまいりましたが、以前とくらべて検査効率が格段に向上している感があり、日々の検査業務に苦闘しております。私事ではありますが、自宅が相模原市内にある（通勤時間の短縮）という利点を最大限に活用して、当院検査科の発展に少しでも貢献したいと考えております。

最後になりましたが、神奈川地区会の皆様との交流をとおして、自身のスキルアップを実現して行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 『転勤のご挨拶』

技師 三五 朋子

平成22年4月1日付けにて、NH0 東京医療センターより NH0 相模原病院へ転任してまいりました。今回の転勤で6施設目となります。前施設では生理検査部門を担当していました。私は、以前、平成14年3月に旧国立小児病院より、賃金職員で相模原病院へ勤務となり、約1年半ほどお世話になっておりました。当時は生理検査と病理検査を掛け持ちで担当していました。相模原病院でも、生理検査部門担当となりました。前施設では検査科は検体部門はランチ化となり、また電子カルテ運用でしたので、採血業務や、検体業務からは程遠く離れてしまい、検体の取り扱いや、生化学等の検査に追いつけない自分と日々格闘しております。皆様に多々ご迷惑をお掛けする事もあると思っておりますが、よろしくお願い致します。



## NHO 神奈川病院

主任技師 山田 貴正

国際医療センター戸山病院から異動して約2ヶ月が過ぎました。今まで都会暮らしの経験しか無く、これほどの自然とふれあえる環境に暮らすのは初めてで自分でもやって行けるか心配でしたが、何とか無事過ごしています。また、病院付近では鹿が出ると聞いていたのですが、1ヶ月で朝・夕1回ずつ野生の鹿と遭遇するなど自然を満喫(?)しています。業務は輸血を含めた検体検査全般を担当し、やっと慣れてきたところですが、これから検査科の一員としてより良い検査科にしていくために頑張ります。

ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

技師 川隅 基子

平成22年3月に昭和医療技術専門学校を卒業・国家試験にも無事合格し、高校時代から憧れていた臨床検査技師になることができとても嬉しく思っています。また、4月からは自然豊かな神奈川病院で社会人としてスタートできる喜びとともに責任を感じています。

現在は副技師長指導のもと抗酸菌検査を主に担当していますが、早く独り立ち出来るように自分なりに頑張っています。今後も向上心を忘れず、任せられた業務に責任を持って取り組んでいきたいと思っています。

非常勤技師 松島 麻衣子

平成22年3月に昭和医療技術専門学校を卒業し、4月16日より非常勤職員として神奈川病院に採用になりました。現在は、生理機能検査を担当していますが、将来的には全ての検査が行える臨床検査技師を目指しています。スペシャリストとして技術を磨くとともに知識も深め、何事にもチャレンジし、向上心を持って業務を遂行していきたいと考えています。その中で医療に携わる者として責任感を持ち、更に良い検査が行えるように経験を積んでいきたいと思えます。新社会人として、未熟な部分や失敗も多くあるかと思えますが精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

## NHO 久里浜アルコール症センター

『お 久 し ぶ り で す』

臨床検査技師長 樋口 祐子

この4月1日付きで、現在のNC 法人国立国際医療研究センター国府台病院から、久里浜アルコール症センターに昇任で参りました樋口と申します。

また、神奈川地区会の一員となることができました。出たり入ったりを繰り返していますが、よろしくお願いいたします。

さて、私がおりました、国府台病院はこの4月1日付で検体部門(生化学・血液・免疫血清・一般検査)がSRLのランチになってしまいました。検査部門は医師会精度管理やその他の外部精度管理でも良い成績を収め、他部門の方からは「副技師長、検査部はまとまりがあるね。」などと言われ、病院からも高く評価されていました。

それでも、赤字財政の中では予算がつかない、厳しい時代にあって、病院側も苦渋の選択だったと思います。

この様な中で一つ心に引っ掛かる事がありました。「検査部の機械は古くて古くて、困っていると言っていたけど、検査部が一番最初に一番新しくなって良かったね。」

検査部に一番理解を示し、一番協力的な医師の一言でした。たぶんランチの意味が分かっていないのだと思いますが、他部門に理解してもらおうという事の難しさを痛感しました。また、測定機器が、一台、また一台と取り払われていくのを見ていると、寂しくなりました。検体検査あつての臨床検査科と思います。

病院幹部、医師、患者様、など社会全体に認められる、臨床検査科になれたらと思います。その第一歩として、地区会の皆様と交流が持てたらと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。



## 副臨床検査技師長 桑村 良隆

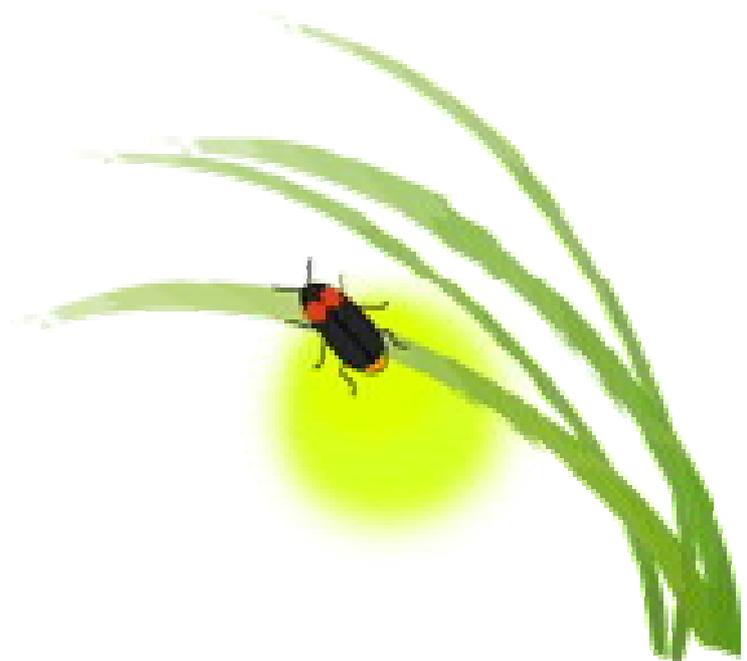
3年半振りに神奈川地区にお世話になります。霞ヶ浦医療センターには2年半程通勤し、転勤前の1年は単身赴任、久々のシングルライフを楽しみました。

久里浜アルコール症センターまでは1時間半の通勤時間です。多摩川を渡り居眠りしながら乗車すること40分程で京急久里浜駅に到着です。駅のすぐ傍にはボートや乗り合いの釣り船が停泊しています(私も釣りにつれてって)。バスに乗り換え少し行くと、あの有名なペリーさんの記念碑があり、千葉県金谷行きフェリー乗り場を経由し病院到着となります。バスを降りると寄せる波の音と磯の香りがし、海の近くで育った私には何とも懐かしく郷愁を感じながら職場に入ります。久里浜アルコール症の検査科は技師長を含め6名(女性5名と男性1名)で構成されています。

生化学、免疫・血清の検体系を担当し、やっと検査システム、職場環境に慣れてきたところですが、事務当直が月数回あり夜中や朝方に患者から電話がありこの対応に苦慮しています。

当センターはアルコール依存症に合併する病気の原因、診断、治療及び研究を専門に行っております。検査科として出来ること、また、私自身アルコール依存症を理解し他職種とも連携をとりながら診療に協力できればと考えています。

神奈川地区の皆様には今後とも宜しくお願いいたします。



# 神奈川地区会会員名簿

平成 22 年 4 月 1 日付

## NHO 相模原病院

浅里 功  
峰岸 正明  
河本 健二  
寺島 孝一  
岸川 悦子  
原田 宏美  
大矢 良之  
大塚 幸広  
山口 秀樹  
中野 和明  
後藤 信之  
木村 正行  
安田 寿美子  
久保 順一  
福永 利恵子  
安保 伸樹  
三五 朋子  
片桐 理絵  
長谷 未和  
木津谷 亮  
藤原 由貴乃  
水野 正浩  
福富 健司

## NHO 神奈川病院

當銘 良也  
今村 ちさ  
内田 栄二  
大森 智弘  
山崎 直樹  
山田 貴正  
市川 喜代子  
川隅 基子  
松島 麻衣子

## NHO 横浜医療センター

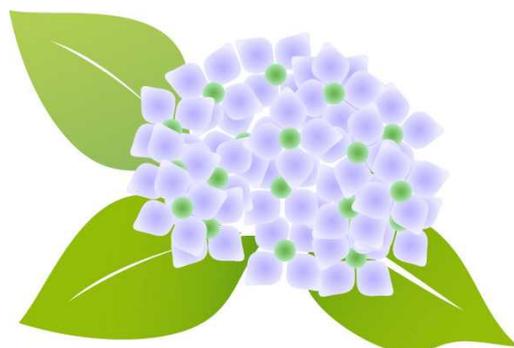
中島 治  
稲葉 孝  
枝久保 安正  
小林 正弘  
中村 泰代  
佐藤 成彦  
與儀 浩  
長谷川 光治  
山田 大助  
竹内 智明  
渡邊 和則  
野中 照美  
佐久間みゆき  
瀨田 大輔  
小林 真二  
阿部 真利  
角谷 奈帆子  
志村 幸大  
有波 香織

## NHO 久里浜アルコール症センター

樋口 祐子  
桑村 良隆  
林 恵美子  
原 幸子  
杉原 理恵  
大場 南

## NHO 箱根病院

近藤 正  
坂内 孝宏



# 国臨協関信支部神奈川地区会 会則

平成 6 年 3 月 5 日施行

平成 17 年 2 月 26 日一部改訂

平成 20 年 3 月 1 日一部改訂

平成 21 年 3 月 7 日一部改訂

## (名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

## (目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

## (事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

## (事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

## (単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

## (会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

## (役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

## (職務)

第 8 条 役員職務は次の通りとする。

- (1) 会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2) 事務局は、本会の会務を司る。
- (3) 会計は、本会の会計を担当する。
- (4) 理事は、各会務を担当する。
- (5) 会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員を選出)

第9条 役員を選出は次の通りとする。

- (1)この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2)この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。
- (3)この会の事務局・会計は、理事会で互選する。
- (4)この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

(役員任期)

第10条 役員任期は、1年とするも再選を妨げない。

(役員補充)

第11条

- (1)会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。
- (2)会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

- (1)総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。
- (2)理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(会計)

第13条

- (1)この会の会計は、会員の会費等を以てあたる。
- (2)この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。
- (3)この会の会計は、総会において会計報告及び会計検査報告をする。
- (4)この会の会計年度は、2月1日より翌年の1月31日迄とする。

(旅費規程)

第14条

- (1)この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。

(付則)

- (1)この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。
- (2)この会則は、平成6年3月5日から施行する。

(細則)

- 第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。  
順番は、独立行政法人国立病院機構 相模原病院、久里浜アルコール症センター、  
横浜医療センター、神奈川病院、箱根病院とする。  
ただし、理事会の協議により変更することができる。
- 第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。
- 第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。  
理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。



神奈川地区会会報誌 第48号

発行：近藤 正  
編集：安保 伸樹  
          與儀 浩  
          山崎 直樹  
          杉原 理恵